

第8回光設計賞授賞式及び受賞記念講演実施報告

第8回光設計賞の授賞式及び受賞記念講演を2005年11月23日から学術総合センターにて開催されました Optics Japan 2005 におきまして実施致しました。前号でも報告しましたとおり、審査の結果第8回光設計賞の受賞者を下記の通り決定しました。

□ 受賞者

● 光設計大賞

該当無し

● 光設計優秀賞（1件）

タイトル： インテグラルイメージング方式3次元ディスプレイの光設計

受賞者： 平山 雄三 氏， 福島 理恵子 氏， 最首 達夫 氏， 平 和樹 氏
(株式会社東芝)

□ 応募 応募件数は5件でした。

□ 「インテグラルイメージング方式3次元ディスプレイの光設計」については、視域の拡大と高画質化が課題となっていたが、レンズ1個に表示する画素数をソフト処理で変化させるという独自性のある手法と、表示画素パネルのモザイク配列により、課題解決の1つの方向性を示し、3Dディスプレイの実用性を高めた点を評価し、優秀賞を授与することに致しました。

11月23日の午前に受賞記念講演を行いました。今回の受賞記念講演においては、技術プレゼンテーションの後に、受賞した3次元ディスプレイの実機のデモを実施して頂きました。受賞記念講演における実機のデモは初めての事でしたが、予想以上に多くの方が見学に参加され、授賞技術に対する関心の高さを再認識すると共に、デモの試み自体としても成功裏に終える事が出来たと考えております。今回のデモの実施にあたりまして、受賞者の方々にはデモ用機材の搬入設置や、デモにおける長時間の説明のご対応等でご協力頂くと共に、Optics Japan 2005 の実行委員の方々にも会場の手配等でご配慮頂くことで、実現する事が出来ました。本当にどうもありがとうございました。



授賞式の様子



授賞式後の写真

(左より、福島氏、平山氏、最首氏、平氏、山形)

第8回光設計賞の授賞式は同日の午後に、日本光学会の奨励賞合同で執り行いました。今回は都合により、丸山審査委員長の代理で実行委員長の山形が受賞者に賞状と賞金を授与致しました。

光設計研究グループでは、第9回光設計賞への応募を募集しております。5月31日までが募集期間ですので、会員の皆様方は是非応募をご検討頂くと共に、周囲の方々にも応募を促して頂きますよう、ご協力をお願いいたします。

(松下電器 山形)